

平成27年度 特別推進研究 審査結果の所見

研究課題名	星間水素の精密定量による新たな星間物質像の構築
研究代表者	福井 康雄
<p>科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見</p>	<p>本研究は、ガンマ線観測により存在が示唆されているものの直接検出されていない星間物質「ダークガス」が、光学的に厚い低温の中性水素(HI)ガスによって説明できるという応募者が見出した新たな知見を基盤に、HIとCO分子の大規模高分解能サーベイを行って、ダストやガンマ線の観測と比較し、銀河スケールの星間物質の量・分布・形成と転化を徹底的に解明することを目的としている。重要かつ基本的な問題を独創的な観点から研究するために、チリに設置した電波望遠鏡 NANTEN2 の観測装置を増強改良し、他の観測データと併せて解析することには十分な意義が認められる。また、新たに得られる観測データのアーカイブとしての価値も高い。</p> <p>以上により、特別推進研究として採択することが適当であると判断した。</p>